



## こども園の先生が一番使う言葉「ちゃんとしなさい」

この「ちゃんと」という言葉、ケース会議で話題になりました。ついつい使ってしまう言葉ですが、この意味を子どもたちはちゃんと理解しているだろうか？ 大人でも、この言葉の意味を正しく理解し、説明するのは難しい。今ならスマホで調べるに違いないのですが、子どもはできません。



【ちゃんと】～「すべきことをきちんと

と行うさま」「基準にかなって整っているさま」と出てきます。こういう意味だと言っても、さらに子どもは???となるでしょう。

後片付けができないとき、姿勢が悪いとき、話を聞いていないとき、あいさつをしないとき、乱雑になったときなどに先生から「ちゃんとしなさい」が出てきます。「ちゃんと片付けをしなさい」「ちゃんと話を聞きなさい」「ちゃんとあいさつをしなさい」これだとまだ具体的でわかりやすいでしょう。子どもたちは、そう言われたら、今、自分がやっていることは悪いこと、ダメなんだと思うはずです。悪いときだけでなく「ちゃんと〇〇ができてよかったね」と言ってあげると、子どもは納得して次からちゃんとやるようになるでしょう。

【がんばりなさい】も先生方はよく使う言葉です。子どもたちは、先生から言われると「がんばります！」と言いますが、何をどう頑張ったらいいのか本当に理解しているのでしょうか？

毎日、なわとびを練習したから跳べるようになった。鉄棒もコマ回し、皿回し、けん玉、ダンスも初めからできたわけではありません。毎日毎日やっているうちにできるようになったのです。字を読むこと、お友だちと一緒に仲よく遊ぶこともそうです。あの大谷選手も、毎日厳しい練習をしているのです。こんな話をすると、子どもから「『がんばる』とは、毎日続けることなんだね」と言ってきます。

子どもに分かってもらうためには、まず先生がちゃんと頑張らないといけません。



## 嫁姑戦争は昔の話

核家族化が進み、姑と一緒に暮らすお嫁さんは少ないどころか、今の姑の年代もそうした経験がなくなっています。今や孫のために何でも言うこと聞くスポンサーです。

炊事、洗濯、掃除、育児を好き好んで進んでやるお嫁さんはいないでしょう。しかし、昔は手を抜こうものなら、姑から叱責され、嫌味を言われるので仕方なくやっていたに違いありません。だから家事を覚えたいし、親は嫁に行っても恥ずかしくないように育てたのです。

今の時代、お嫁さんにとっては、非常に楽な家庭生活になりました。食事はチンしてできるし、掃除はお掃除ロボットに任せて、洗濯は全自動で乾燥までしてくれる。優しい旦那は家事を分担してくれます。

それでは「育児」はどうでしょうか？ 0歳から保育所に預け、年ごろになったら、〇〇教室や習い事、学習塾に通わせる。自分の時間を持ちたい。仕事を続けたい。女性活躍時代には、これが当たり前となりました。ところが子どもをどう育てたらいいか悩んでいる母親が多いといえます。子育てについて、誰からも教わっていないからです。そうした母親は、「子育て教室」に通うそうです。それでも教室に通う母親は、まだいい方で放っておかれる子どもは堪ったものではありません。(マイナビニュースから)



保護者アンケートの結果について、月曜日にお知らせします。遅くなりましたが、学校運営協議会(こども園部会、育友会三役)の皆さんからも意見をいただきまとめました。アンケート時期に限らず、お気づきのことがありましたら、担任または園長、副園長にお話してください。よろしく願います。

・・・来週から、0～2歳児の「お楽しみ会」が始まります。どうぞお楽しみに！・・・